



町の銭湯が減り、家族以外の人とお風呂に入ることが少なくなりました。いところが集まって、みんなで布団を並べてお泊まりするという経験は、今の子どもたちにもあるのでしょうか。テレビを見ず、ゲームもせず、人と自然の中でひたすら1日を過ごしたのは、いつのことでしょう。

今、消えつつあるこのような経験が、7月3日、4日と行われた宿泊学習にはありました。

宿泊学習記 本山小学校だけの……

宿泊学習は、町内5校の5年生が合同で行いました。5校が同じ活動を行いながらも、本山小学校のユニークさが随所に見られました。

例えば、食事を互いに向かい合って食べているのは、本山小学校だけでした。そんな小さなことさえも、5年生の「和」を表しているようで、嬉しく眺めていました。

クイズラリーは野外の10のポイントを回り、そこで示されているクイズに答えていくものです。本山のあるチームは「君は“ポイント8”へ行け。ぼくは“ポイント10”のクイズを解いておく」と分担制をとっていました。なかなかの知恵者です（これがルールとして許されるかどうかは別として）。

さらに、キャンドルサービスのスタンプで、他の学校の「踊れる人は一緒に踊ってください」の呼びかけに答え、踊り始めたのは、本校の5年生でした。スタンプを盛り上げようとする気持ちからなのか、ただひたすら踊りたかったのかは分かりませんが、思いを伸びやかに表現できる5年生です。

「和」と「知恵」と「伸びやかさ」を備えた子どもたち。この子どもたちのこれからの成長と活躍が楽しみです。



2日間を終え、学校に到着した途端、ちょうど授業の終わった4年生が駆け寄ってきました。

「宿泊学習って何するん?」「楽しかった?」

4年生は、1年後の宿泊学習に向けて、すでに期待感でいっぱいです。

When you wish upon a star ~星に願いをかけるなら~

1日目の最後、キャンドルサービスの終わり。素晴らしい1日を贈ってくれた子どもたちへのお返しに、この子どもたちの思いが七夕を待つ五色台の星空に届くように、キャンドルマスターから5年生に「星に願いを」のピアノ演奏を贈りました。

「星に願いを」
星に願いをかけるなら
あなたがだれであるかなんて関係ない
心を込めて望むなら 願いはきっと叶うでしょう
(映画「ピノキオ」より「星に願いを」)



この曲に乗せて、子どもたちは何を願ったのでしょうか。将来の夢でしょうか。仲間との絆でしょうか。それとも家族の幸せでしょうか。

宿泊学習を終えた今、私は願います。

「この子どもたちが、今の6年生のように、学校を牽引していく子どもたちになりますように。」

「4年生が、このままの期待感をもって、5年生になるのを楽しみに頑張れますように。」